

ひきこもりから回復へ

宇都宮で28日初回 隔月5回シリーズ講演

不登校、ひきこもりの当事者や家族らを支援するNPO法人「KHJとちぎベリー会」は28日、宇都宮市若草1丁目のとちぎ福祉プラザで「ひきこもりからの回復」をテーマとした学習講演会を開く。来年2月まで隔月で計5回開催する。

初回は、一般社団法人「SHIP! ひきこもりと共生社会を考えるネットワーク」の上田理香代表理事が「私たちの日常生活を大切にするかかわりとは? ひきこもること 生きること 対話しながら考えよう」と題して講演する。

各回とも時間は午後1時半～4時。参加費は会員1300円、一般1500円、当事者無料。定員50人。単発の参加も可能。メール(aku@sky.ucatv.ne.jp)やショートメール、ファクス(0282・86・4437)で申し込む。阿久津久雄副理

事長090・3900・5643。(長島有紀)

■第2回以降の日程とテーマ、講師は次の通り。

8月23日「知っておきたい ひきこもりの子どもと家族のためのお金セミナー」(ファイナンシャルプランナー山ノ井史さん)▽10月25日「当事者の気持ちを理解するための親としての自己理解」(カウンセラー増渕由子さん)▽12月20日「地域でひきこもりを考える」(県子ども若者・ひきこもり総合相談センター「ポラリス☆とちぎ」センター長中野謙作さん)▽2027年2月28日「本人が元気になるために家族ができること」(武蔵野大准教授野中俊介さん)



上田理香さん